

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2024年5月10日

事業所名 ちあふるスクール枚方

保護者等数(児童数)50 回収数41 割合82%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	37	3		1		来所時等に保護者様に活動スペースの見学をしていただけるようお声かけさせていただきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27	7		7	現場を見ていないのでよく分からない。	適切に人員配置をしております。現状は、人員を増やして加配で申請している状態でございます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	9		3		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	39			2		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	36	2		3		支援計画の全体内容の見直し以外に、目標の見直しを行い、目標に対する狙いを明確にして、活動プログラムを決めております。目標に合わせて、活動プログラムも見直し変更しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	20	11	6	機会があったのか不明です。	保護者様のご要望があれば今後の検討課題とさせていただきます。従業員の子どもも参加して一緒に活動する機会を設けております。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	5				支援計画の面談以外にも、送迎の際や、電話連絡などでお子様の様子をお伝えさせていただきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	6				面談時以外にも、ご相談があれば、その都度お話をし助言などを行っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	29	15	4	・他の保護者とお会いする機会はありません。 ・保護者との交流がしたい、色々なことを知りたい。	現在は保護者様同士で交流する場は設けておりませんが、ご要望があれば今後の検討課題とさせていただきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	9			今はないので分からない。	苦情があった場合、迅速かつ適切に対応いたします。また内容をお伺いして、今後苦情に繋がることがないように改善いたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	1		3		メールや連絡ツールだけで意思疎通が難しい場合に、電話や対面でお話する機会をつくっております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	30	10		1	・Hugの更新が利用した日にUPされていない。利用した日は何をしたのかその日に見たい。 ・見れていない。	自己評価の結果をオフィシャルHPに公開いたしております。その他にも各事業所の様子をHPでしております。利用当日の活動記録を、翌日以降に更新しているため、利用したい日に何をしたのか、どんな様子だったのか、送迎時など口頭でお伝えいたします。口頭報告のあと、改めて詳細内容を翌日以降に確認していただけるようにいたします。
14 個人情報に十分注意しているか	38	3					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	8	5	2		入所利用手続きの際に、周知説明しております。今後も不明点などお問い合せがあった際は、速やかにご案内いたします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	7	2	4		定期的に防災訓練を行っております。必要に応じて、訓練の後にクイズを出したり、実際に建物から避難する訓練を実施しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	38	3			とてもたのしみをしています。 ・色んな特性のある子供たちがいることは理解していますが、あまりにも大声や騒がしすぎる時の対処がもう少し何かあればなあと思います。(イヤーマフやイヤープラグ、ヘッドフォンでは対処にならないくらいだそうです。)	利用者様が大声を出してしまうときや、騒がしいと感じる場面、静養室を活用して物理的な距離をとる切り替え方法も実施いたします。また他にも状況に合わせて、過ごす環境改善で対応策を用意していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	40	1			たまにマイクラできなかったと言います。	時間が足りなかったのか、他の取り組み活動を優先したのかなど、状況次第になります。引き続き要望を丁寧にお伺いして支援いたします。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。